



国府台女子学院 小学部だよ

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

携帯電話の使用について

本校では、携帯電話の所持については、条件付きで許可しています。すでにお知らせしてあるところですが、再度ご確認いただき、ご家庭での管理をよろしくお願いいたします。

<携帯電話所持・使用の規則>

児童が携帯電話を使用できるのは以下の場合です。

○登下校中に、地震等により利用中の交通機関が平常通り動かなくなり、車内で待機になったり、駅構内や周辺で身動きがとれなくなったりした場合。

○登下校中に、不審者に襲われ、危険が迫っている場合、あるいは、防犯上必要な場合。

○教師の指示があった場合。

上記以外で使用した場合は、1回目は注意書、2回目は警告書で注意いたします。3回目以降は、携帯電話を学校で預かり、保護者の方に来校していただき、こちらから手渡しいたします。

なお、携帯電話は、ランドセルか緑バッグに入れ、緊急時

3月行事予定

6日 6年生茶道教室

7日 火曜時程

ひなまつり集会・6年生を送

会

8日 休業日

10日 短縮日課開始

仏教朝礼、委員会

15日 児童自宅学習

19日 5, 6年生卒業式予行練習

20日 小・中卒業式(1~4年生自宅学習)

21日 終業式

* 4月4日 始業式



詳しくは、携帯電話所持許可願いに書かれています。

携帯電話所持許可願いは1年ごとに提出していただいております。ご理解、ご協力をお願いします。

また、学校では、学習の中でインターネットの正しい使い方等を指導していますが、学校だけで徹底するのは難しいのが現状です。ご家庭のご協力が必要です。お子様の携帯電話の管理、子供任せになっていませんか。

お子様がどのような使い方をしているのか時々把握しておいてください。夜は保護者が預かるなど、お子様と一緒に話し合って約束を決め、安全な使い方についてのご配慮をお願いいたします。

気を付けていても子どもたちにとって様々な魅力的な情報が入ってきます。

子供たちを危険から守っていくのは、大人の役目で

6年生茶道教室

卒業まで残りわずかとなりました。

6年生は、凶工の時間に作成して焼いた自分のお茶碗を使っての茶道教室があります。

正座をして作法を習い、少し緊張しながらいただくお菓子とお茶は格別な味です。

豊かな心を育ててほしいと願っています。

1年間を振り返る

学年の終わりに、この1年間を振り返ってみましょう。頑張ったことはどんなことですか。楽しかったこと、優しい気持ちになる思い出はどんなことですか。成長したこと、もう少し頑張りたいことを振り返り、次年

今月の目標

整理整頓をし、1年間のまとめをしましょ

『仏説阿弥陀経』ってすごい!

今回は仏教行事(孟蘭盆会)の時に読経する『仏説阿弥陀経』についてお話しします。この『阿弥陀経』といえば、学校で読経するお経の中で一番長いものです。そのため、集中力が切れ、今読んでいる箇所を見逃してしまうと、復帰するのが困難であり、指差し確認しながら真剣に読む「難度高め」なお経として、国女の児童・生徒の間では有名です。

この『阿弥陀経』に「青色青光(しょうしきしょうこう)黄色黄光(おうしきおうこう)赤色赤光(しゃくしきしゃっこう)白色白光(びやくしきびゃっこう)」という一節があります。これは「青い花はあるがまま青く光ればよい、黄色い花は〜」と訳し、人は自分のあるがままの姿で生きるのが尊いと語っており、それぞれが個性を発揮し、その上で調和する世界が極楽浄土(阿弥陀如来の国)だと教えてくれているのです。

現代の社会や学校では、「多様性」「ダイバーシティ」「共生」といった考えが重視され、お互いの『認め合い』が目標として掲げられています。この考え自体はとても素晴らしいものの、『認め合う』という言葉が、ともすれば「相手を理解し、受け入れる」という行為を絶対的な美德として捉え、違いを無理に納得させようとする圧力を生じさせているのではないかと感じる場合があります。人間の容姿、性質、嗜好、生物学的・社会的性別はもちろん、文化・人種・民族と多岐にわたり、この世界は多様性に富んでいます。ここでまた『阿弥陀経』の話となりますが、「青色青光、黄色黄光、赤色赤光、白色白光」とは「違っていることを無理して理解しようとはせず、違ったまま、分からないまま受け入れることの大切さ」を教えてくれていると私は考えます。それぞれの花が、ただあるがままに、その色に応じた光を放つように、人間もまた、互いの違いを無理に理解しようとはせず、分からないまま、違いがあることを前提とし、その違いを尊重しながら共存することを目指す考えなのです。『阿弥陀経』が教えてくれる「青色青光〜」という多様性のあり方は、現代社会が目指す「共生」の世界のモデルケースとしても大変参考になり、感

ちょっとうれしい話



学校説明会でのこと。

「電車の中で、本を読んで静かに過ごしている子どもたちがいるが、どこの学校だろうと思っていたところ、『国女』の児童だった。今時の電車の中は、皆スマホを見ているのに、本を読んでいる子どもたちの周りだけさわやかな空間が広がっていて、学校の説明を聞きたいと思っていた。」と、話してくれた方がいらっしゃいました。

子どもたちのすてきな様子を誉めていただくことは、本当に嬉しいことです。